



## うちゅう じんるい い 宇宙へ人類はなぜ行くの

### うちゅう 宇宙へのあこがれ

よる そら ほし じんるい おお そら うちゅう  
夜の空にまたたくたくさんの星。人類は大むかしから空をながめては、宇宙へあこがれてきました。

ほし ひか ほし ほし  
なぜ、星が光っているのだろう。星はいくつあるのだろう。星のむこうのそのまたむこうに、何があるのだろうか。こうした人類の好奇心が、宇宙のなぞをさぐる大きなもとになったのです。

### じんるい うちゅう だいいっぽ 人類の宇宙への第一歩

ねん がつ きゅう れん じんるいはつ じんこうえいせい ごう う あ せいこう  
1957年10月。旧ソ連は、人類初の人工衛星スプートニク1号の打ち上げに成功しました。重さわずか84キログラムと、軽くて小さなものでした。

ねんご ねん がつ にち きゅう れん  
それから4年後の1961年4月12日、旧ソ連のユーリ・ガガーリンはポストーク1号に乗って地球を一周、1時間48分間の宇宙飛行の後、地上にもどってきました。

じんるい はじ うちゅうひこう ちきゅう あお ことば ゆうめい  
人類が初めて宇宙飛行をし、ガガーリンの「地球は青かった」の言葉はあまりにも有名です。

ねん がつ にち  
そして1969年7月16日。アメリカのアームストロング、コリンズ、オールドリンの3人は、アポロ11号に乗り、月をめざしました。7月20日、月着陸船でアームストロングとオールドリンが人類で初めて月面に降り立ったのです。

じんるい うちゅう たん の だ げんざい かせい もくせい すい  
このように、人類は宇宙の探さくにはじめました。現在では、火星や木星、水星、金星、海王星などのわく星探査機を打ち上げ、さらに宇宙のなぞをとこうとしています。(監修 国司 真)

